

# 山陰道標識改善プロジェクト

## 山陰道標識改善プロジェクトとは

### ■モニターの方々の意見等を活用してわかりやすい標識に

鳥取県西部地域から島根県東部地域で開通している山陰道（全長約57km）は、全国的にも稀な有料区間と無料区間が混在する道路で順次延伸・接続を繰り返しながら開通した結果、一部統一性に欠ける案内標識となるなど、利用者にとってわかりにくい状況になっていました。

そのため、有識者、一般ユーザー代表などから構成される「山陰道 道路案内標識改善検討委員会」を設立し、山陰道及び関連道路についてユーザーが安全かつ確に判断できるわかりやすい標識改善に向けた検討を行ってきました。

### ■改善プロジェクトに伴う整備

平成19年3月末までに山陰道（淀江大山IC～斐川IC）、一般道路（無料区間と並行する国道9号上）の標識改善が完了しました。次のIC名や無料の表示などにより予告を充実すると共に、連続するIC番号の表示・出口名大きな表示・周辺主要施設の表示などにより、ドライバーをサポートしています。

#### 以前の標識は・・・

- どこまでが無料の区間なのかが分かりにくい
- どの出口が目的地に近いのかわかりにくい
- 表示方法がバラバラ・・・などの意見がありました



#### 新しい標識

- 周辺の主要施設を表示
- 出口名を大きく表示
- IC番号の表示
- 「無料」を表示
- 次のIC名の表示

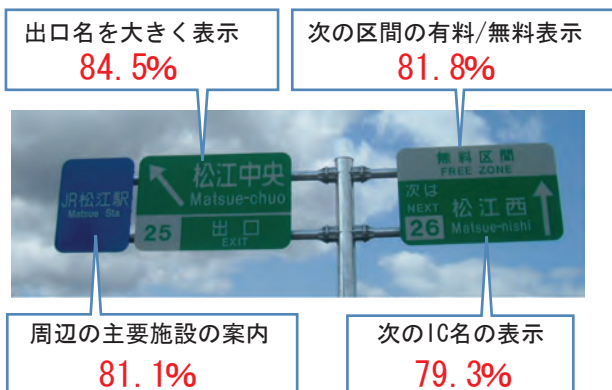


### ■標識改善の成果

#### 山陰道上の標識

概ね8割程度の利用者がよい評価

「分かりやすくなった」「やや分かりやすくなった」との評価を抽出

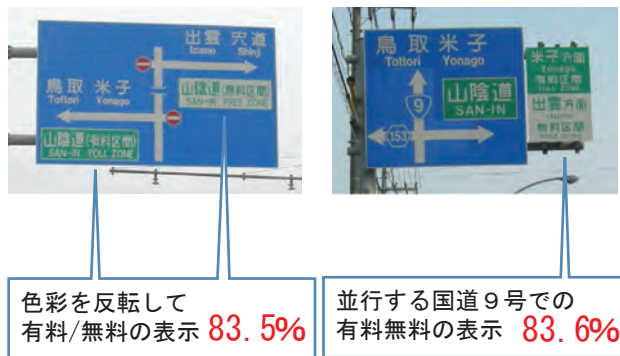


標識全体としては、**83.4%**

#### 一般道上の標識

概ね8割以上の利用者がよい評価

「分かりやすくなった」「やや分かりやすくなった」との評価を抽出



標識全体としては、**83.5%**